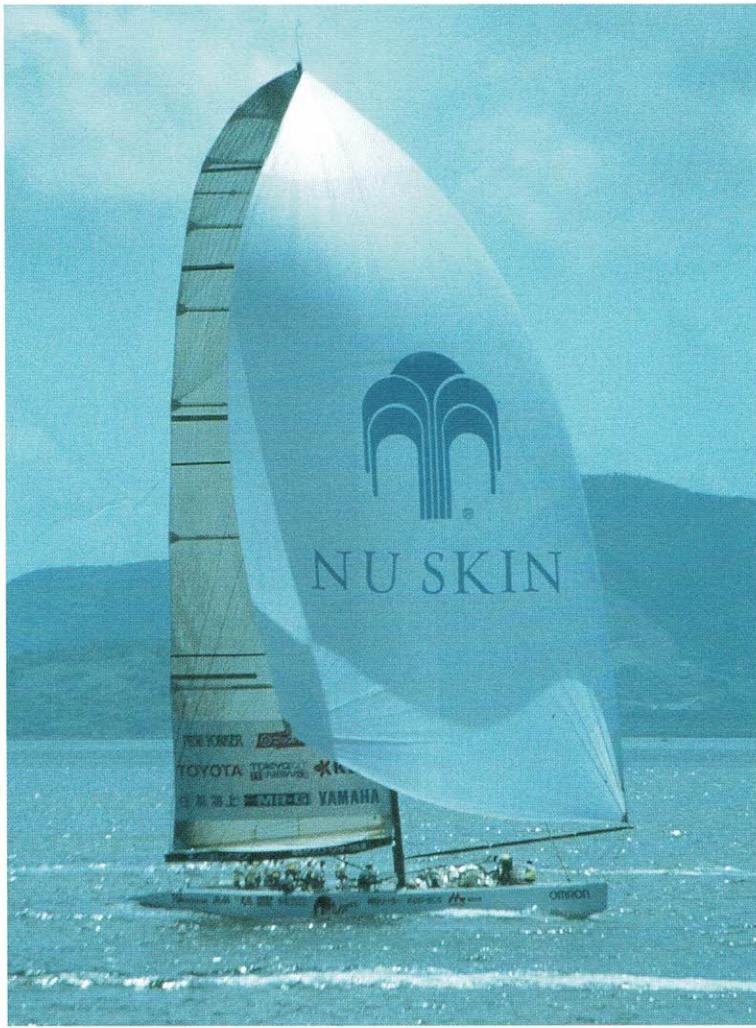


lions

年報 No.11 2000.6



撮影 牧 真太郎



蒲郡マリンライオンズクラブ

目 次

スローガン・モットー・ライオンズの誓い	1
役員一年間の回顧	2~3
次期役員の抱負	4~5
リジョン委員の回顧と抱負	6
アクティビティー一覧	7
特別活動報告	8~9
例会活動報告	10~21
特別寄稿	22~23
趣味部会活動報告	24~26
新入会員紹介・退会会員	27~29
役員、委員会組織	30~31
事務局日誌	32~37
会員年間出席表	38~43
編集後記	





Gamagori Marine Lions Club

◆スローガン・モットー・ライオンズの誓い◆

スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nations Safety
(自由を守り、知性を重んじ、我々の国の安全をはかる)

モットー

We Serve
(われわれは奉仕する)

1999～2000年スローガン

334 複合地区
21世紀へ 結ぶ手に叡知を
334-A 地区
守ろう環境 続けよう ウィサーブ
蒲郡マリンライオンズクラブ
和と輪で楽しく ウィサーブ

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、
平和と自由を守り、社会奉仕に精進する



Gamagori Marine Lions Club



一年間の回想

会長

小田 昭男

まずは一年間クラブの運営事業に幹事、会計、理事そして会員の皆様には御指導ご協力を戴き心よりお礼申し上げます。

年度始めにクラブスローガンを「和と輪で楽しくウィサーク」でスタートしました。例会をいかに楽しく出席率をいかに多くするかと毎日が試行錯誤でしたが各委員長の努力により多くの社会奉仕をする事ができました。又数多くの委員会に出席し特に2R2Zの諮問委員会は他のクラブの役員とお逢いし人ととの出会い、多くの方と知り合い勉強させて戴きました。又他の会長とクラブについて運営事業等お話が出来、参考にする事が多くあり自分の愚かさを知らされました。今一度初心に返り、「ウィサーク」を基に各種の「アクティビティ」を会員の皆様と一緒に鋭意努力して来ました。

7月毎年開催する花火大会はクラブの夏期家族会の行事で、家族の皆様と遠く飯田赤石LC姉妹委員長L梅村他7名の委員の皆様をお招きし、花火を楽しく鑑賞しました。又9月はトルコ、台湾にて大地震があり死者2万余の犠牲者の出た大惨事になり見舞金を贈りご冥福を祈りました。10月は福祉委員会L松井の担当で毎年行われる大塚つづじ寮他5施設総合運動会に参加し、杉田寮長の挨拶につづき寮生の皆様と競技を楽しく行いました。又寮生の中には体の不自由な方が多く、16才～60才程の方が一生懸命競技する姿に感動しました。又運動会等をビデオ、写真にまとめ構成し施設に贈呈しました。

飯田赤石LCの200回記念例会に私共3役を招待していただき例会を拝見し、いろいろアイデアもよろしく私共は大変参考になり早速実施しました。年も明け、記念すべきミレニアムの年始例会前に市民会館神殿に於て全員で安全祈願をし、蒲郡市長をお迎えしました。新春スピーチでは今年からは出席率を少しでも良くと思っていた所、年始例会は修正出席率100%になり皆様に感謝いたしました。これを機会に出席率を高める様努力し今後も各例会委員会も楽しく少しでも多くの出席が出来ます事を祈念し私の言葉に変えさせて戴きます。最後に会員の皆様には温いご協力とご助言に対し厚く謝意を申し上げ筆を置かせていただきます。



Gamagori Marine Lions Club



幹事として一年間を振り返って

幹 事

L 平野 優

一年間、御協力ありがとうございました。就任にあたり会員の皆様の御協力で、一年間無事クラブ運営が出来る様、年報でお願い申し上げました。

クラブスローガン「和と輪で楽しく、ウィサーブ」の合言葉のもとに楽しくアクティビティが行なえたと思います。

10周年を終えた翌年の年でしたので、大きな目立つアクティビティは無かったかもしれません、地域に根ざした奉仕が出来たと思います。又、例会出席も修正出席率ですが100%が数回ありました。

三役セミナーに参加したおり、幹事の役割、それは「忍耐」と書いてありましたが、その様なことは、皆様の熱い友情で、微塵も感じませんでした。

今後、色々な役割を与えられました折には宜しくお願ひいたします。感謝、感謝。



「2年間の会計を終えて」

会 計

L 三浦 雅敏

2年間やらせていただいた会計の任期が今終りに近づいております。

この間、他クラブの周年記念式典や地区年次大会等に出席させていただき、貴重な体験をしました。又クラブ内では、毎月理事会に出席し、クラブの活動を感じた2年間でした。事務的な事は我がクラブでは事務局がやってくれますので私は支払の承認印を押すのと理事会での月次報告が主な仕事でしたが、皆様のおかげで無事役目を終えることができ、ありがとうございました。



Gamagori Marine Lions Club



質の良いクラブに

次期会長

L 加藤 寿則

蒲郡ライオンズクラブへ昭和57年4月に入会し、蒲郡マリンライオンズクラブへ平成2年に移籍して以来、18年が過ぎました。今回平成12年度のライオンズ会長としてセレクトされ、重責を務める器ではありませんが、クラブに入会して会員の皆様のため、そして地域社会のため貢献出来ればと思いお引き受け致しました。大変厳しい社会情勢のもとにクラブの活動を実行していくには、会員の皆様のご指導及びご協力を賜り、力強い活動をしなければならないと思います。国際会長L.ジャン・ペアールは「質の良い会員とクラブ」というスローガンを出されました。私も入会してライオンズクラブ全体を知る様になった時、例会出席し会費を納めクラブの活動に、そして良いアクティビティをする事、これを守ってこそライオンズマンだと思いました。

新年度の蒲郡マリンライオンズクラブのスローガンは「高めよう、クラブのクオリティ」に決まりました。物事はプラス志向に考え、行動して、約束に責任を持って、礼儀正しく積極的にクラブ活動の出来ることだと思います。

会員を維持するに於いて、世の中の厳しさもあろうかと思いますが、退会者の中に経済的な理由より、自分の期待に応じていなかったことも上げられます。出席率の問題は、まず各委員会の出欠が大切だと思われます。自分の委員会が何委員会に属するかを忘れてはいないだろうか。そして理事会と例会出席です。例会皆勤に誇りを持っている人は大変素晴らしいと思います。

最近、全世界が自然環境問題を取り上げています。地球全体の自然の永続を図ることが、人間としての責務であるという認識を持つことが大切です。真剣に考えなければならないと思います。

最後に、ライオンズクラブを知ることが大切なことで、知ろうとしないことは残念です。各委員長、理事会メンバー、力強いスタッフに囲まれ、強力な会員の皆様の下で1年間頑張っていきます。

よろしくお願ひ致します。



Gamagori Marine Lions Club



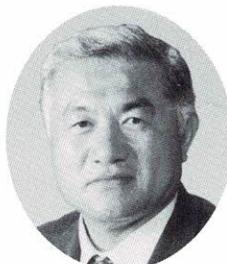
幹事役を仰せつかり

次期幹事

L 小田 倉平

幹事と云う大役を仰せつかり、私は今不安と戸惑いの気持ちでいっぱいです。歴代の優秀な幹事の後を受け継いで私のようなものに出来るかどうか、又、どうしたらよいかと、幹事必携を読み、又、先輩の助言を聞くにつれ大変な役を受けてしまったと思う昨今です。
しかし、受けた以上は何とか無事に一年間が進む事を祈るのみでございます。

さて、幹事の役割とは、諸先輩方も年報に書かれているとおり、会長の基本方針に従い、理事会との調和を計り、クラブの取りまとめ、クラブスローガン「高めようクラブのクオリティ」に基づき、縁の下の力持ちに徹する事ではないかと思います。



次期会計に指名されて

次期会計

L 榊原 幸博

蒲郡マリンライオンズクラブに入会させて頂き五年目に入りました。
昨年は、未熟ながら四献推進委員会の委員長をやらせて頂き蒲郡健康まつりのイベントでは、多くのクラブの方々に、参加ご協力を頂き大変感謝致しました。

委員長になって自分で責任有るクラブの活動に参加して初めて今までのクラブの皆様のご苦労がよく分かりました。

今まで、自分自身がクラブの活動にはあまり参加する事もありませんでしたので、とても反省させられました。そんな私が今回、又重要な三役の会計を受けさせて頂く事になり、大変責任を感じております。

力不足ながら、クラブに貢献出来ますよう、努力致したいと思っております。
皆様のご指導の程宜しくお願い申し上げます。



Gamagori Marine Lions Club



リジョン四献推進副委員を受けるにあたり

次期R四献推進副委員

L 夏目 憲行

指名委員会にてR委員に推薦され、準備R委員会に出席する機会が増え、他のR委員と顔を合わす度に思う事は、マリンライオンズクラブ以外のR委員は、殆どが会長経験者だと言うことです。各クラブの代表の委員長を取りまとめるには、知識と豊富な経験が必要だと言う事で、残念ながらわたしには、知識も豊富な経験もありませんが、若さと体力には人一倍自信があります。二年間ですが、一生懸命にクラブの為、又自分自身の為に頑張りたいと思います。



2R LCIF委員を振り返って

前2R LCIF委員

L 山本 四十三

2年前、会長のL河井勤と指名委員長のL鈴木殖夫からLCIF委員の要請がありました時に、私としては多少なりとも、そのことにつきましては知識がありましたので、いかがなものかと思いました。

過去10年間当クラブでみますとLCIFにつきましては、「暖簾に腕押し」のごとく手応えがなく張りあいも頼りもなく思った次第です。

しかし、L河井、L鈴木が「協力するから」との一言で、おおげさに言えば伸るか反るかの心境で引き受けました。結果はと申しますと、意に反しては失礼な言い方ではありますが、2Rでは一番の成果をあげることができました。

私は当クラブの方々の情の厚さに感謝すると共に今となっては、このような役を与えて下さいました事に感謝をする次第です。LCIFは何やら「募金の達成ありき」が全面に出るようなきらいがあり疑問に思ったこともあります。もっともLCIFの中身と言いましょうか目的を説明しなくてはいけないと思います。

最後に、LCIFの委員長を引き受けられる方の御苦労を考え、皆様の御協力を願い筆を置きます。